

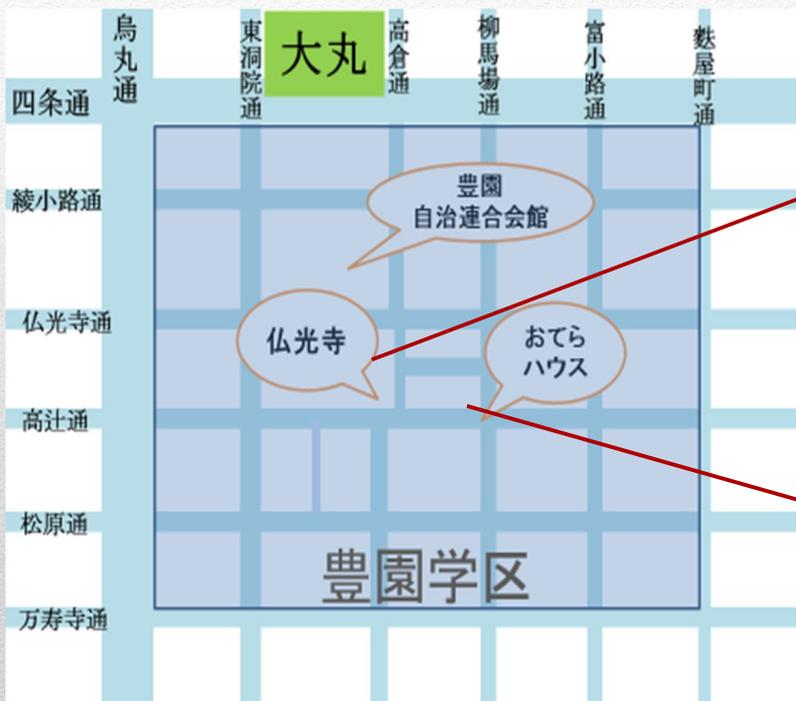
人をつなげる 豊園縁側プロジェクト

発表者 佐野凱紀
杉本昌之
中村珠巳
中平日奈子
水上智貴

人をつなげる豊園縁側プロジェクト実行委員会

豊園学区とは

人口：2686人 世帯：1770世帯





地域の課題

- ① 高齢者の孤立化
 - ② 世代間交流が希薄
 - ③ 地域イベントの参加者、
担い手の固定化
-

目的

地域参加のきっかけ作り: ①聞き取り調査



地域参加、世代間交流: ②下京区フォトギャラリー



新しい地域への参加者: ③ワークショップ



魅力の発信、活動記録: ④冊子作成

豊園自治連合会

役割 会場提供、広報

・豊園福祉協議会

役割 地域住民への情報提供
聞き取り調査の協力

・下京少年補導委員会豊園支部

役割 子供への参加の呼びかけ

etc...

学生

役割 企画、運営

- ・聞き取り調査
- ・下京区フォトギャラリー
- ・冊子作成
- ・ワークショップ

下京区社会福祉協議会

役割 下京区フォトギャラリー
の助言、広報

龍谷エクステンションセンター

役割 学生と市の仲介役

①聞き取り調査

○対象

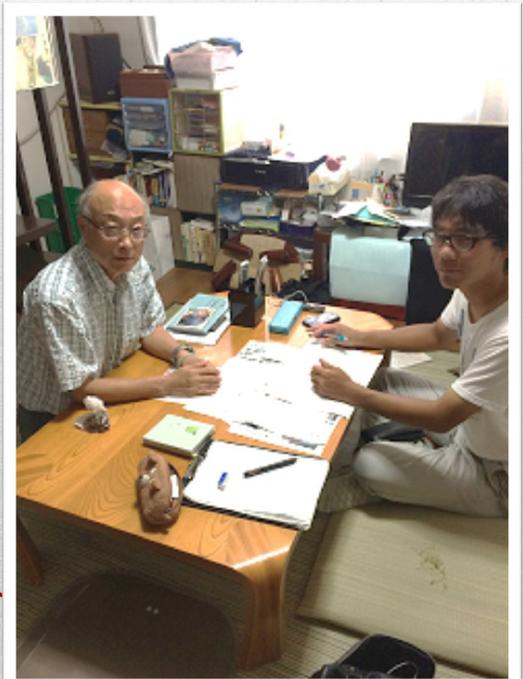
伝統職人、寺社仏閣について独自に研究している方など約20人

○内容

豊園学区の魅力

○発信方法

下京区フォトギャラリーで
パネル展示



実際にフォトギャラリーに
来て下さいました。



フォトギャラリーで展示した
パネル

②下京区フォトギャラリー

○日時

2015年12月6日、7日

○参加者

約100人

○目的

- ・地域の魅力の発信と再認識
- ・参加者の増加と、つながり

○内容

今昔比較コーナー

聞き取り調査のパネル展示

一般公募写真展示 他

○会場

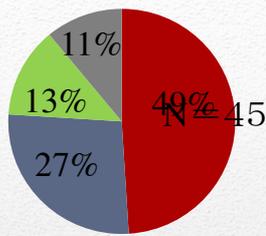
豊園自治連合会館、おてらハウス



当日の写真展の様子

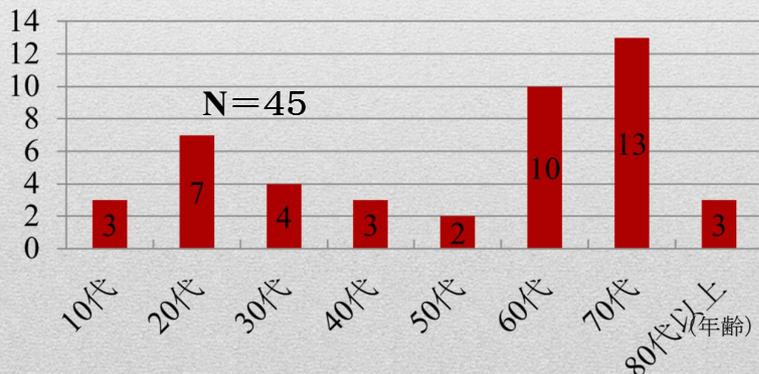


あなたのお住まいを教えてください



- 豊園学区
- 京都市内（下京区以外）
- 下京区（豊園学区以外）
- その他

(人) 参加者の年齢



来場者の約半分が豊園学区の方で高齢者が多い。写真展をまたやってほしいという意見多数

③ワークショップ

○日時
2015年1月17日

○会場
豊園自治連合会館

○参加者
地域住民:13人
学生:13人



○内容
『豊園学区の魅力と理想像を考えよう！』
『新しい地域イベントを考えよう！』

当日のワークショップの様子



豊園学区の魅力と理想像

魅力

- 伝統職人が多い
- 住みやすい
- 京都らしい街並み
- 人が温かい

etc...

理想像

- 若者・マンション住民との交流
- 気軽に立ち寄れる地域
- イベント参加者の増加
- 行事の多様化

etc...

新しい地域イベントを考えよう！

手作り市～見て来て楽しもう～

対象：親子、マンション住民

場所：仏光寺

内容：手作り品をフリーマーケット形式で販売
伝統職人の物作り教室 他

企画・運営：連合会、学生、他

他にも コンビニでの朝市、祭り(盆踊りなど)、
豊園の歴史紙芝居などが出ていました。

④冊子作成

○対象

地域住民

○発行部数

1500部

○配布方法

ポスティング、カフェに配架

○内容

豊園学区のイベント、活動記録

○目的

伝統文化や地域の魅力発信

次の世代への継承



伝統文化財を継承する刷毛



打刷毛（うちばけ）とは？
国宝や重要文化財の修理に使われます。表具の修理は本紙に和紙で裏打ちするのですが、裏打ちする紙は、糊で張り合わせるのととも、上から打刷毛でトントンと丁寧に叩き続けます。本紙と裏打ちの繊維が絡み合い、やがて一枚の紙となつて強度が増します。打刷毛は伝統文化財を残すためにもなくてはならないものです。国宝・重要文化財の修復に国内だけでなく、世界でも使用され、高評価をいただいています。

藤井さんの一言

京都の歴史や伝統産業を絶やさないようにしてほしいです。私も大切にしていきたいと思っています。最近気になっているのは京町家。ちよつと広い空家があると、マンションが建つてしまつ、小さいとガレージになつてしまつ。そんなまちなみは京都のイメージに合いません。観光客も何のために京都に来たのかわからないと思います。お寺があり、町家があり、文化財もあり、お寺を修復するよつな技術もある。それこそが京都です。そういつものが残ってほしいと折っています。

17



藤井源一郎

藤井松華堂

刷毛

を継 ぎ を す

活動のポイント

- ① 緊密なコミュニケーション
- ② 出会いの場
- ③ 地域からの協力的な支援

第1回

きょうと地域力アップ貢献事業者等 表彰式



成果と評価

成果

- ・自治会と絆が深まったことにより地域での活動が柔軟に行え、繋がりや輪が拡大

- ・魅力の発掘・発信・共有による、住民の誇りや帰属意識の向上

- ・可能性の発見

課題に対する評価

- ・高齢者の引きこもり
協力を得にくかった。

- ・世代間交流
学生と地域の方との交流は深まったが、マンション住民や若者を巻き込めなかった。

- ・参加者、担い手の固定化
参加者は改善傾向。

展望

対応策

身近に触れ合えるイベントの考案
⇒若い世代の参加者の増加

世代間交流
担い手の発掘

新しい地域イベント案

- ・手作り市
- ・コンビニでの朝市
- ・祭り(盆踊りなど)
- ・紙芝居

私たちの学び

相手が何をしたいかを汲みとり客観視

結果を出すことの重要性

周りに支えられていることへの感謝

信頼関係の構築

失敗を恐れずに挑戦

地域デビューへのきっかけ作り:聞き取り調査

高齢者・新しく来たマンション住民

対策

地域デビュー、世代間交流:写真展

地域に興味・関心を持った方

新しい担い手の発掘:ワークショップ

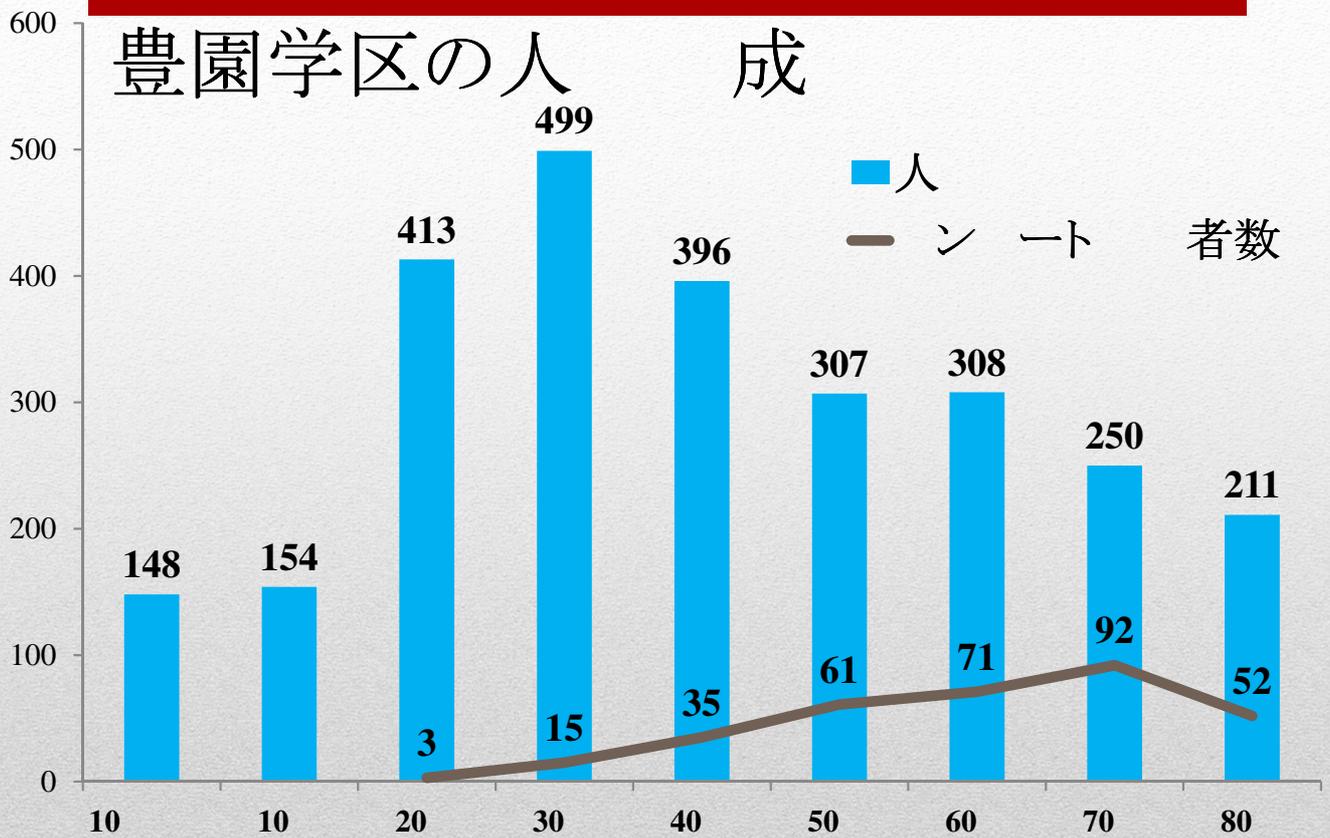
豊園自治連合会
会場提供、広報

企画・運営
学生

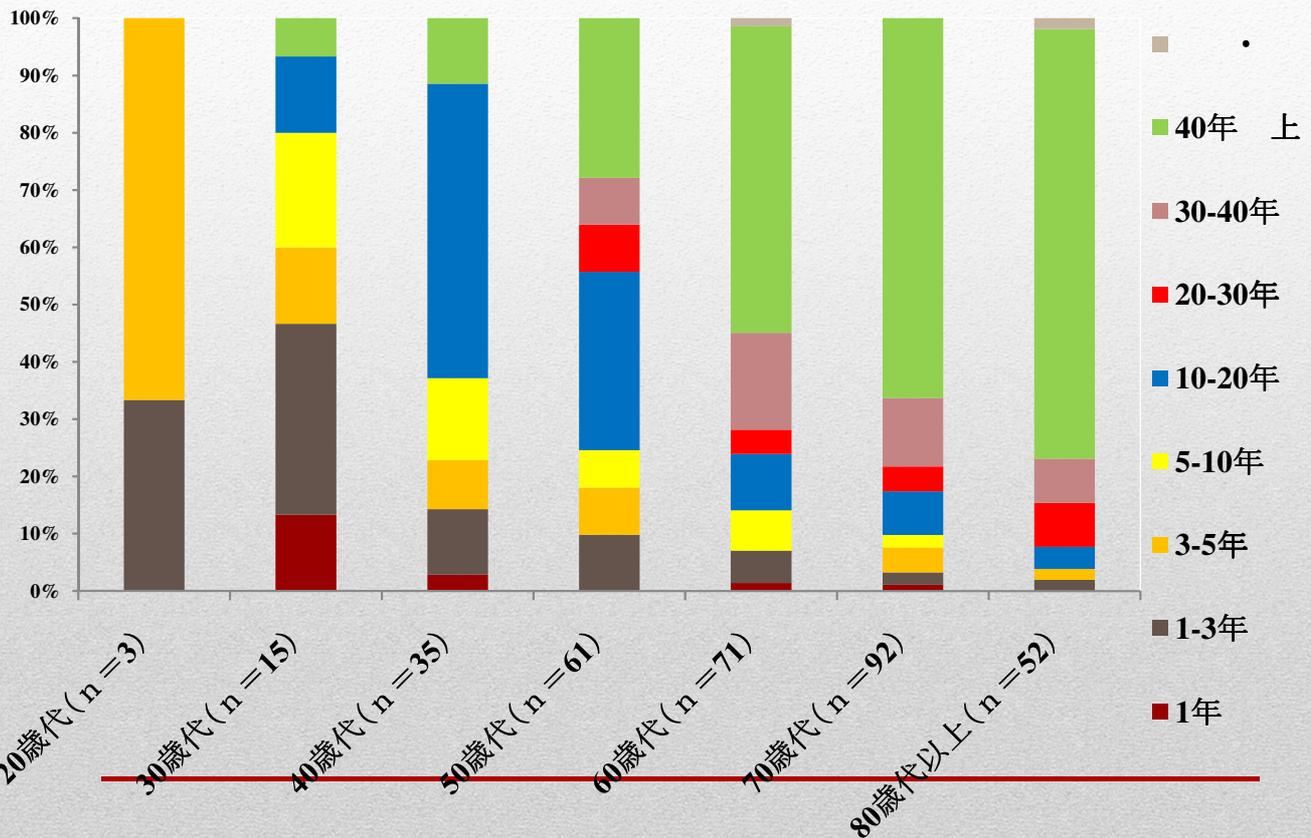
少年補導委員会
子供への参加
の呼びかけ

社会福祉協議会
地域住民への
情報提供
聞き取り調査の
協力

豊園学区の人 成



年の住年数



今までの活動



桜まつり

子ども祭り



なぜ豊園学区なのか？

2011年10

京 下京区を ま の縁側 を 。



2013年10

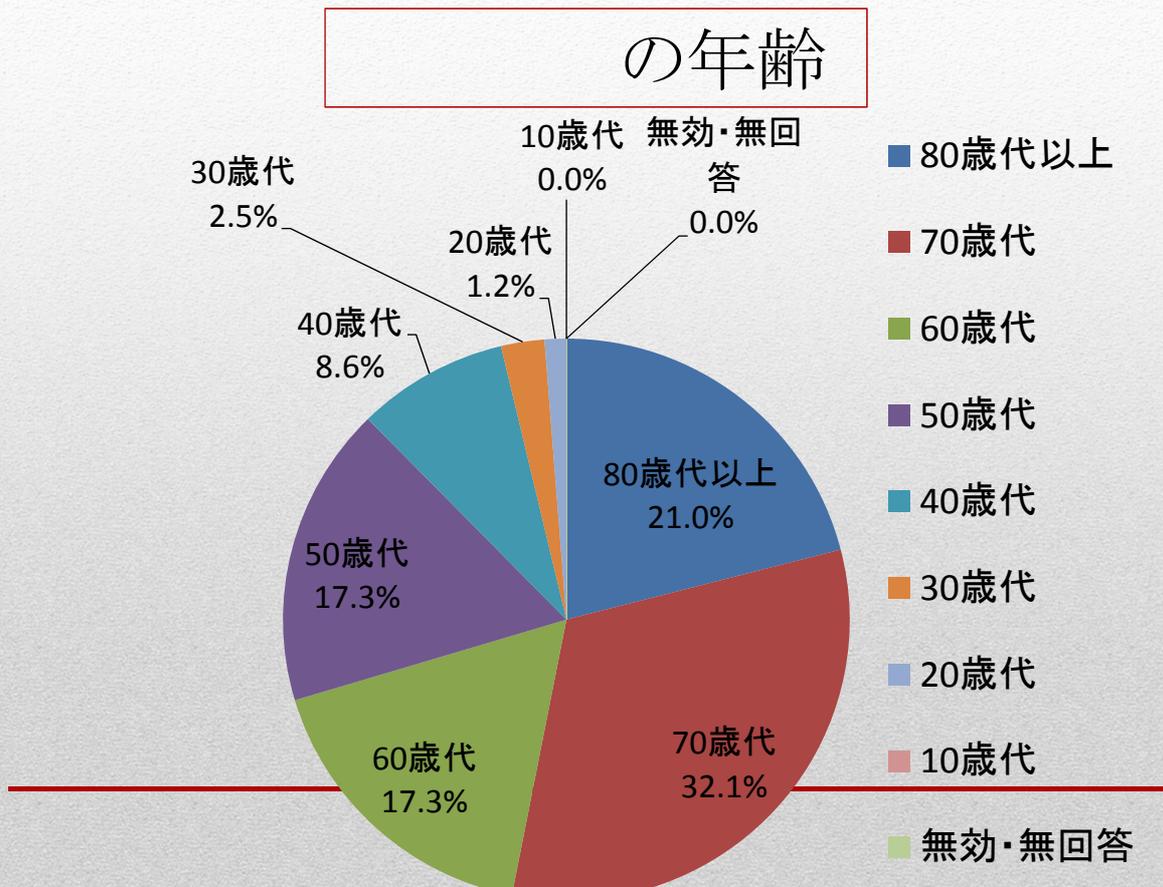
豊園学区 お住まいの方を ン ート調
査を実 。



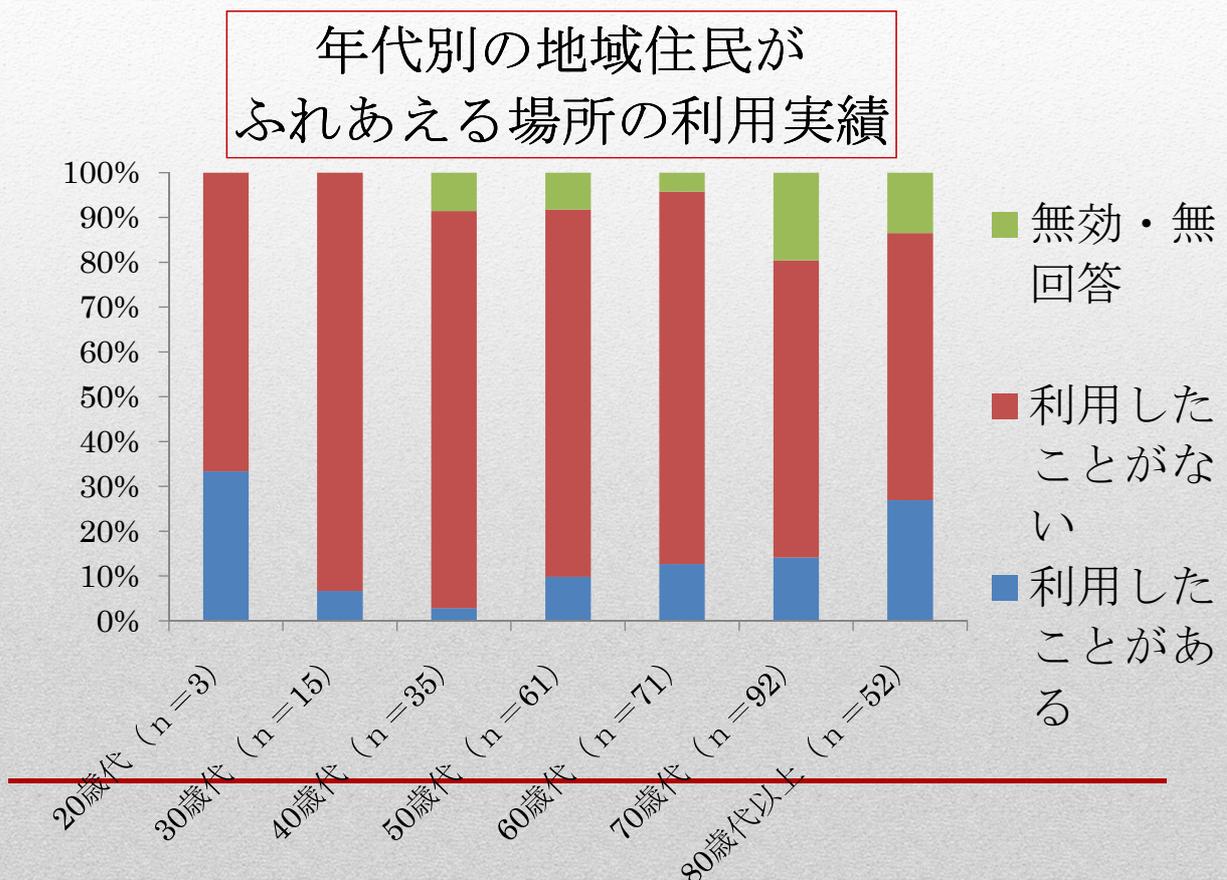
年

ン ート調査を と 、 のプロジェクトを 。

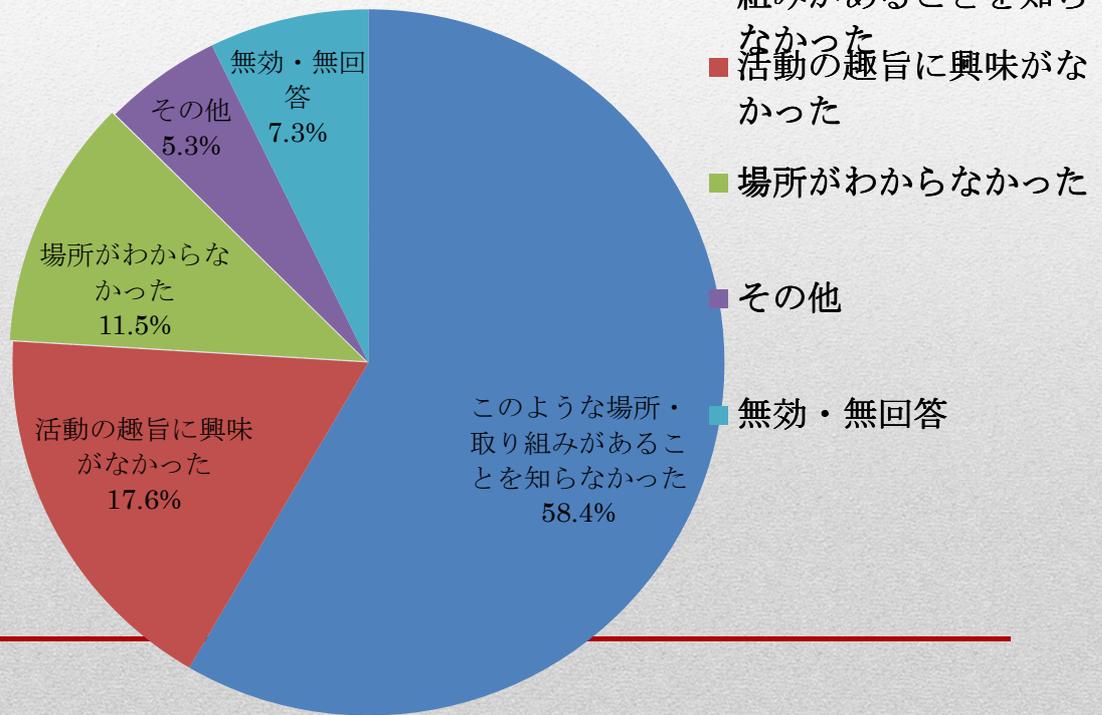
① 単身世帯の高年齢化



② 世代間交流の軽薄さ



したとがない



③地域イベントの参加者、担い手が固定化している

高齢者



子供連 の
子